

# 登小だより

教育目標 「笑顔・元気・命かがやく子供の育成」のびっ子笑顔大作成



April号



登立小HP  
文責 校長 田崎正明

## スタート！ ー皆様、よろしくお願ひいたしますー

春爛漫と咲き誇った桜の季節が過ぎ、新緑の美を感じる頃となりました。25人の一年生の入学、6人の職員の転入により、児童167人、教職員32人で、令和6年度のスタートを切りました。総勢199人、一致団結し、より活力ある学校づくりに努力いたします。本校では、「生きる力」の育成に向け、教育目標の具現化を図ります。そのためには、皆様方のご理解とご支援、そして、ともに進む共通実践が必要です。我々(学校・家庭・地域)の力で教育の質の向上を図り、子供たちに幸福感を実感させたいと強く願ひます。皆様方のお力を頼りに、ともに手を携えた教育実践を目指したいと考えます。よろしくお願ひいたします。下記は、教育指導に関する考え方です。皆様方と共有できれば幸いです。

- ◇「郷土愛を醸成するために」①郷土へ愛着心を高めるために郷土を知ることが重要です。②学校を含め、地域をステージとした体験・学習活動の展開が必要です。③子供たちの学びを支援し、成果を共有できる地域人材(組織)が必要です。
- ◇「自己実現を図るために」①「自己実現」のとらえ方への共通理解を図ることが不可欠です。②子供たちの自己実現に向けた指導及び支援を構想し、実践することが重要です。
- ◇「努力するのびっ子の姿を実現するために」①子供たちの目標達成への意欲を喚起し、それを継続させていくことが不可欠です。②子供たちが自身の活動(学習・生活)を振り返り、改善し、努力し続けられる自己評価の力と強い心を育てる取組が重要です。
- ◇「これらの育成のために」①学校、家庭、地域それぞれにおける育成にむけた取組と、その連携が必要です。②育成に向けた取組の成果と課題を明確にして、次のステージに向かう仲間、同志が必要です。

### 教育目標

#### 笑顔・元気・命かがやく子供の育成

笑顔があり、元気で、命が輝くのびっ子を育てます。「笑顔」「元気」「命」は教育指導における指導と評価の観点です。

- ①恒常的な「笑顔」を実現する
- ②明確な目標堅持による「元気」を保持する
- ③相手意識に裏付けられた「命」を大切に作る行動化を図る

### 目指す子供像 四つのすすんで

すすんで助け合う(徳)・すすんで学ぶ(知)  
体を鍛える(体)・働く(体)

- ①目指す児童の姿を具現化  
雨ニモマケズ(のびっ子編)
- ②指導・学習・生活の共通のスローガン  
すすんで、自分で、自分たちで

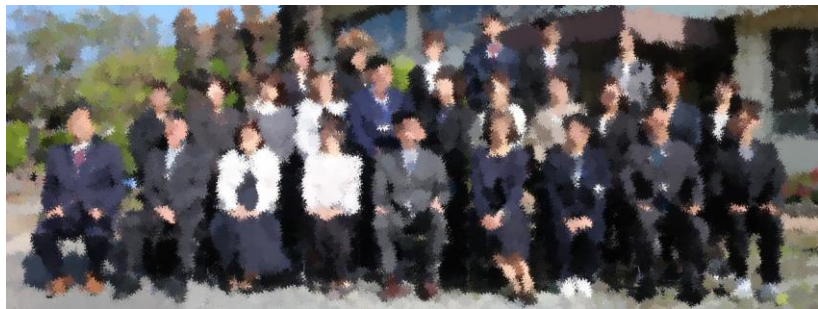
### 転入及び職員紹介

年度末の異動に際しましては、転出のご挨拶も十分でなかつたこと、転出者に代わりお詫び申し上げます。さて、本年度は六人の教職員の転入がありました。転入者一同、真心を込めて、精一杯、子供たちの教育にあたる所存です。皆様方には、留任者と併せて、ご支援いただきましたよう、心よりお願ひ申し上げます。

#### 〔転入職員〕

- ◇教諭 緒方 義弘 (今津小より)
- ◇教諭 池田 一親 (姫戸小より)
- ◇教諭 福山 かつお (今津小より)
- ◇教諭 嶋本 あかね (新規採用)
- ◇教諭 村松 龍太 (新規採用)
- ◇特支補助 山本美樹 (新規採用)

入学式くのびっ子の仲間入り  
四月九日(火)に二五人の子供たちが入学しました。全員元気に、そして笑顔で式に参加しました。式には五年ぶりに全校児童が参加し一年生を迎えました。全員、とても立派な態度で、先輩としての自覚の表れを感じました。式辞では、三本の木「笑顔の木」「元気の木」「命の木」が開校以来、登立小を見つめていること、そして、三本にそれぞれ大きく、美しい三つの花「笑顔の花」「元気の花」「命の花」を咲かせてほしいと伝えました。そんな一年生も入学から二週間が経ち、日々成長しています。楽しく学校生活を送り、給食もモリモリ食べています。皆様、黄色い帽子の子供たちを見かけられたら、安全な登下校へのご支援とともに、頑張り成長を認める働きかけをよろしくお願ひ致します。入学式をはじめ、新入生の入学に際し、お心遣いいただいた皆様方に心より感謝し、御礼申し上げます。



校長	田崎正明	学校主事	平田小百合
教頭	山下るみ	学習支援	増田令子
教務	池田一親	特支補助	松尾邦子
育成	緒方義弘		高野敦子
少人数	五島秀樹		松本あゆみ
英語専科	竹内礼子	給食技師	小松野すみれ
1年担任	福山かつお		山本美樹
2年担任	村松龍太		小林里香
3年担任	田平亮太		岩本浩美
4年担任	楠田一心		水野淳子
5年担任	濱口ゆかり		石本安子
6年担任	藤本勇希	調理員	小嶋明子
ひばり担任	藤野直美		松岡倫子
わかば担任	嶋本あかね		リリー・マイ
保健・養護	松尾佳代	ALT	アンソニー・デヴィット
学校事務	岩寄礼子	初任研後補充	野村浩美

元気な声、笑顔で、返事も上手にできました。



三忍者も登場して、一年生を応援しました。

### あしがき

「その一言で」が始まる詩があります。どこかで目にしてメモしたのですが、言葉の持つ力の大きさを表してあります。多々言葉は相手に向けられるものです。言葉で喜怒哀楽を伝え、受け手も喜怒哀楽します。また言葉は心を表すものでもあり、逆に心を隠すことができるものでもあります。言葉を介して関係を作る私たちにとって相手の立場や気持ちを推し量るといった高い相手意識をもつことが大切だと考えます。

「言葉は選べ」とよく言いますが、選ぶ前に相手の立場や心情を察して、思いを巡らせ相手にとってふさわしく、そして相手が欲する言葉の使い手になりたいものです。

「その一言」

その一言で励まされ

その一言で夢を持ち

その一言で腹が立ち

その一言でがっかりし

その一言で泣かされる

ほんのわずかな一言が

不思議な大きな力を持つ

ほんの一寸の一言で

くまもと家庭教育十か条 第九条 (地域全体での子育て)の二の子もあの子も 地域で子育て みんなの宝



# のびっ子の輝き

~Noboritate.es school life scene~

**始業式** 4月8日(月)に始業式を行いました。令和6年度が始業しました。のびっ子の学校生活もスタートです。「笑顔、元気、命輝くのびっ子」のより一層の成長をめざして、全員で手を携えて進みます。

登立小学校校歌

のびっ子の庭は 登立の自然全部 美しいふさふさ

のびっ子の町は いつも賑やか 元気に満ちた所

のびっ子は大きな 目標掲げ、常に がんばる子供

【6年生の姿が目標です】



【学級開き～新たな目標を掲げて】



## 全国学力・学習状況調査

6年生が「全国学力・学習状況調査」(国語・算数・質問紙調査)に取り組みました。この調査は全国の全6年生(中学生は3年生)が参加する調査です。真剣に取り組む6年生に配慮して、実施中は他ののびっ子たちも静かに学校生活を送りました。学ぶ力とともに、相手意識も高まり、思いやりの心も大きくなっているのびっ子たちです。調査結果は7月下旬に出され子供たち一人一人に提示されます。



## 歓迎遠足

快晴の下、歓迎遠足を実施しました。167人のびっ子全員が片道4km、往復8kmの道のりを歩き切りました。のびっ子全員で過ごした初めての活動でした。「のびっ子メモリーNo.1」として、心のアルバムに残す1日となりました。保護者の皆様、お弁当の準備、ありがとうございました。



## 備え～地震津波避難訓練～

地震発生、それに伴う津波への対処方法の理解と安全・迅速な避難できるように全員で訓練を行いました。本校の避難所は学校向かいの丘上(大瀬建設敷地)です。今回は緊急対応を想定して垂直避難(三階教室へ)の訓練行動をとりました。全員が「よくできた」「うまくいった」という実感を得る訓練活動を体験しました。ご家庭においても、避難方法、避難場所のご確認をお願いします。



参考：気象庁動画「津波からにげる」

## 備え～命を守るために～

私たち教職員も、のびっ子とともに学びを止めない大人になることを掲げました。先日は、様々な出来事に対応できるように、研修に取り組みました。今回はアナフィラキシーへの対応研修です。北消防署から講師をお招きし、エピペンの取り扱い、処置、対応等についてシミュレーションを通して学びました。



消防署の方からのエピペンの取り扱い講義



アナフィラキシー反応に対する対応訓練



のびっ子メモリーNo.1